

## 海老名災害ボランティアネットワーク 平成30年度 第9回(1月)定例会、議事録

開催日時：2019年1月10日(木)19時～21時、会場：海老名市総合福祉会館、第3音楽室  
(出席、敬称略)大野、小澤、佐々木、杉下、中村、野中、松井、水本、山本、福田(議事録作成)

### (1) 会計(松井)より報告

①一般会計 2018年12月末日の残金 227,004円(+3,559円、11月末日比)

【内訳】支出：交通費1,480円、印刷費25,731円 計27,211円

収入：雑収入30,000円(大和法人会より謝金)、事業収入770円、計30,770円

収入30,770円-支出27,211円=+3,559円

(会費納入者) 個人会員22名(9月に間違っって23名としたが8月以降22名で推移している)、  
賛助会員12名(±0) 団体会員3団体(±0)

②特別会計 62,000円(±0) (注)±0とは前月からの増減なしの意味です。

### (2) 活動報告;(12月11日から12月末日まで)

1) 12月14日(水)13時～、ボラ連定例会、会場：総合福祉会館(会議室)

【出席】福田、水本、テーマ；12月9日のふれあい交流会の振り返り

ボラ連主催の防災講演会の件(2019年2月5日(火)10時～12時など)

2) 12月20日(木)14時～17時、海老名防災3者定例会

テーマ；海老名災害救援ボランティアセンター・マニュアルの見直し、マニュアルの本文は、ほぼ確定した。様式の変更を検討する。【出席】佐々木、福田、水本

### (3) 今後の予定及び事業内容の検討(2019年1月～3月まで)

1) 1月11日(金)12時～13時、イオン黄色いレシートキャンペーン、イオン1階

出席：水本、三宅

2) 1月11日(金)「えびなっ子スクール」(教育委員会)へのアンケートを提出

第1案：シェイクアウト(1～4年生向け)、第2案：防災マップづくり(5～6年向け)

上記の2案とも、海老名市教育委員会に郵送した(1月11日)。

どこかの小学校から申込があれば、2019年7月中旬など夏休みに実施することになる。

3) 1月11日(金)「平成31年度 海老名市立総合福祉会館利用登録申請書」を提出

昨年暮れに、海老名市総合福祉会館の管理者から手渡されていた上記の申請書を11日に総合福祉会館に持参して提出した。この申請書の裏面には、「団体構成員名簿」があり、氏名、住所、年齢を記載する様式になっている。災ボラ代表が保管する「会員名簿」の個人会員から22名、団体会員から1団体の責任者名を記載して提出した。(年齢について入会申込書に記載が無い方があったが推定で記載)

4) 1月16日(水)9時～11時、海老名市婦人団体連合会「くらしのセミナー」打ち合わせ

今年のセミナーは「防災」をテーマに、3月9日(土)10時～12時、海老名市文化会館で開催。

講演内容は、「家庭で出来る防災・減災対策」、講師は福田博(海老名災ボラ代表)、定員約50名

5) 1月18日(金)14時~16時、海老名防災3者定例会

海老名災害救援ボランティアセンターのマニュアルの見直し、様式を確定する。

出席予定：佐々木、福田、水本

6) 1月19日(土)10時~12時、海老名市防災講演会、会場：市役所401会議室

テーマ：「被災地の現実を寸劇の形で知ろう！女性の視点で！講師：吉田洋子氏

出席予定：中村、野中、福田、(水本：民生委員として参加)

7) 2月5日(火)10時~12時「災害(地震・水害)対応講座」(ボラ連参加団体の研修会)

会場：総合福祉会館、出席予定：石橋、小澤、館、野中、山下、水本、三宅、吉野、福田、中村、杉下、合計11名となった。ボラ連全体では約80名の参加予定がある。(ボラ連から申込者に弁当支給)

テーマ1：災害時の避難について、講師：安宅(危機管理課)

テーマ2：地震災害に対する「事前の準備と在宅避難生活」、講師：福田博(海老名災ボラ)

打ち合わせ：2月1日(金)13時~14時、ボラ連役員会+災ボラ(福田、水本)

ボラ連定例会：2月5日の講演会終了後に開催(2月8日の定例会は2月5日に変更)

8) 2019年2月17日、24日災害救援ボランティアセンターコーディネーター養成講座

社協が作成したコーディネーター養成講座のチラシを参照(メールリストで配信済み)

社協の担当者(新倉氏)によれば、既に15名の申込者がある。

9) 3月9日(土)10時~12時、「くらしのセミナー」第3回、防災講演会

海老名市婦人団体連合会主催、会場：海老名市文化会館、一般の参加者も募集する。

講演内容は、「家庭で出来る防災・減災対策」、講師は福田博(海老名災ボラ代表)、定員約50名

(4) その他

1) 「平成30年7月豪雨災害・被災地支援活動費補助金」(4000円)の「復活」について

平成30年7月~11月1日で、いったん打ち切った。神奈川災ボラと神奈川ボラバスチーム(神奈川災ボラ加盟団体)の補助金申請に対して、神奈川県共同募金会から認可された(補助金)。次の2団体が再度、ボラバスを出すことになった。行き先は、岡山県倉敷市の被災地で復旧活動支援。

①神奈川災ボラ：第7便、2019年2月1日夜~3日朝に、参加費は1人7000円

②神奈川ボラバスチーム；2019年第1便、1月18日(金)夜~20日朝、1人1万円

2019年第2便、1月25日(金)夜~27日朝、1人1万円

上記の2団体主催のボラバスに限定して、海老名災ボラ会員の参加者1人4000円の活動費補助金を出すことを1月定例会で決定した。既に災ボラ会員で1月18日に参加予定者がある。

2) 「海老名災ボラ会員名簿」の作成のための「アンケート調査を」を実施(3月中~下旬)

①名簿作成の目的：海老名災ボラの会員相互間の連絡・交流を促進するために、会員名簿を作成し会員内部に公開する。(災ボラの代表者は会員の入会時の入会申込書に基づいた「会員名簿」を作成し随時更新して、副代表・会計と共有している。これをそのまま「会員に公開する名簿」とはしない。現在の会員名簿は、「災ボラ定期総会」資料の送付、「海老名災ボラネットワークだより」の送付、年会費

の請求書の郵送などに利用している。)

- ②「公開する会員名簿の項目」は、氏名、住所、電話連絡先（自宅、携帯）、メールアドレス、生年月日とする。個々の会員の「住所、電話連絡先（自宅、携帯）、メールアドレス、生年月日」について、「会員に公開する名簿」に「どの程度まで掲載するか」は、「公開する会員名簿に関するアンケート調査」に会員が記載した内容による。例1) 携帯電話番号、生年月日など「記載されていない項目」があった場合は、記載された内容のみを「会員に公開する名簿」に記載する。
- ③「会員に公開する名簿」は、海老名災ボラ会員相互の連絡・交流を促進するために作成・会員に公開するものである。海老名災ボラの活動に直接関係しない様々な活動に利用することを禁止する（目的外利用の禁止）。例) 政治活動、宗教活動、海老名災ボラ以外の諸団体の活動など。
- ④「会員アンケート」の範囲は、個人会員（22名）、賛助会員（12名）、団体会員（3団体）とする。この調査は、4月の定期総会の資料を送付する時期に合わせて行う。

⑤広報担当者（野中氏）が、現在のメーリングリスト参加者の名簿（氏名とメールアドレス）を、近日中に公開する予定が提案され、了解された。合わせて、メーリングリストに参加している人が、メールを見たかどうかの確認もしたいので、返信を要求する時には返信をして欲しいとの要望があった。

### 3) 海老名災ボラ第18回定期総会の件

日時：4月13日（土）14時～17時、会場：海老名市総合福祉会館、第1・第2会議室  
（1月11日に社協・新倉氏に依頼して、会場を仮予約して頂いた。）

- ①役員：代表1名、副代表2名、会計、会計監査、2～3月定例会までに、候補者を推薦したい。  
現代表（福田）から健康上の理由などで「出来れば新しい人に交代したい」との発言があった。それに関して特に意見は出なかったため、現代表から会員に個別折衝をするので、協力要請があった。
- ②議案書作成：3月定例会までに作成し、3月例例会で了承を得て、委任状と一緒に発送する予定。
- ③来賓：案内状作成と送付：案内状は、海老名市長、危機管理課長、海老名市社協会長など

次回：2019年2月7日（木）19時～21時、総合福祉会館、第3娛樂室（1階）

次々回：2019年3月7日（木）19時～21時、総合福祉会館、第3娛樂室（1階）